

津久井地域における一般ごみ収集のDX化に関する実証実験が終了しました

本市では、小田急電鉄株式会社と令和5年5月31日に覚書を締結し、持続可能な社会の実現に資するために、ICTを活用することにより、収集業務の更なる効率化等を目的とした一般ごみ収集のDX化に関する実証実験を行いました。この度、実証実験が終了しましたので、お知らせします。

1 実証実験期間

令和5年6月19日（月）から令和6年3月31日（日）まで

2 対象地域

津久井地域（旧城山町・旧津久井町・旧相模湖町・旧藤野町）

3 検証内容

ICTを活用し、収集状況の管理・ごみ収集の見える化・収集作業の効率化・働き方改革・収集車両のCO₂排出削減効果などについて検証しました。

（1）データ分析による効率化

収集量、走行距離、作業時間などの情報やリアルタイムな車両情報の活用による収集業務の最適化、CO₂の削減効果などの可能性が見込まれます。

（2）ごみ収集状況の見える化

スマートフォンで収集状況が確認できる「ごみ収集状況の見える化」を実施した結果、市民アンケートでは、利用者の半数以上が利便性を感じたとの回答結果となりましたが、60代以上の利用率や利用意欲は低い傾向にあることがわかりました。

（3）不法投棄対策に関する効率化

不法投棄パトロールの記録をデータ化することによる事務作業の効率化、監視強化などの可能性が見込まれます。

本実証実験で得られた結果については、今後、費用対効果も含め、本市における効率的な一般ごみ収集体制の検討に生かしてまいります。

問合せ先
環境経済局津久井クリーンセンター
042-784-2711（直通）